

出来なかった自分から新しい自分へ

東魂 スポーツ

自分のために

中学校生活と行事



行事を利用する

上の写真は1年4組にある掲示物です。団結祭に向けた自分の決意を一人一人が記入したものでした。クラスのみんなの熱い思いが伝わってきます。東中のいろいろなクラスで団結祭に向けた話し合いなどが行われたと思います。「どんな団結祭にしたいのか」や「団結祭の学級ルール」など様々な話し合いが行われたことを耳にしています。その中で大切にしてほしいことは、何のために行事があるのかということだと思います。団結祭の取り組みや当日の姿をどこにつなげていくのかということ。2学期のキーワードも「日常で勝負」ですが、何(誰)のために日常を創り上げるのかという点が非常に大切になってきます。

2022年(令和4年)
9月20日
火曜日
東スポ
第6号

学校は学ぶところです。教科の学び・生活にかかわる学びなど多くの学びはすべて自分の成長につなげていくために必要なものとなります。だからこそ団結祭などの行事の学びをぜひ自分の成長につなげてほしいのです。上の写真に合わせた決意を今の自分の実態に合わせて決めてほしいと思っています。きっと自分の姿を見つめて決意を書いた4組の皆さんなら、団結祭にかかわる経験を自分にとっての成長へとつないでいけると思っています。楽しみです。

さて、では日常の目標と団結祭をどうつなぐのかイメージしづらいという人もいるかもしれません。そこでここにくつか例を紹介しておこうと思います。

例①コツコツ努力できる自分になりたい人へ

普段コツコツと努力を積み重ねることが苦手だと思う人ほど、取り組み期間中の練習で弱音を吐かないことを意識してみてください。それまでもちよっとだけ強い自分に出会えるかもしれません。

例②拳手発言ができる自分になりたい人へ

授業中の拳手発言について苦手意識を感じている人ほど、団結祭の取り組みは活用できるでしょう。作戦会議など学級での話し合いの機会は増えると思えます。ただ、勇気がまだまだわかないという人は、作戦や練習のアイデアを担当のリーダーに相談してみるとよいかもしれません。

みなさんも、団結祭という行事を利用して新しい自分に出会えるかもしれませんよ。

【第2弾】石が…

前回の東スポでも書きましたが皆さんが草抜きを進めてくれた後を、1年生学年主任の前島先生が、カートにトンボを付けてグラウンド整備をしてくださいました。また、駅伝担当の森昭人先生はトラック上の石を中心に昼休みまで利用して拾ってくださいました。ただ、尋常じゃない量の石が落ちています。私も試しに20分程拾ってみました。左の写真の量を拾いました。一番大きなもので一〇センチメートル以上のものがありました。何とかしないとけません。私自身対策を考えたいと思っています。



忘れないでね。
感染症対策
熱中症対策